

ゆめっと ピサ:

2015年度版

特集

学生会・生徒会
わたしたちの学園リーダー

こんな行事も頑張っています！

スティールトレジャー



広大なキャンパス内のあらゆる場所に隠された秘宝（トレジャー）を、クイズに基づき探し当てるといったユニークな企画。発見者には某有名テーマパークのペアチケットをはじめとした豪華賞品が当たるだけに、大勢の学生で盛り上がりました。

ハロウィン



10月末のハロウィンの季節には、学生会みんなが仮装を行い人気投票を行います。中には授業の合間を縫って血塗りにアザの化粧を行うリアルな演出も。テーマパークのノリで食堂を占拠し、お菓子を配るスタッフには大きな拍手がおくられました。

先生からのコメント

学生会は基本的に大学生の自主活動ですから、教員が口を挟みすぎるのは控えています。組織運営の難しさ、意見調整の大切さなど学べるものは多いと思います。また活動には、必要書類をしっかりと書いて提出する、納期管理を徹底するなど、彼らが社会に出てから必要とされる要素もたくさん含まれており、その意味でもいい経験だと思いますよ。

なると こうじ
成戸 浩嗣 先生
豊田学舎学生会顧問
愛知学泉大学
現代マネジメント学部教授



学泉祭名物「大船渡のサンマとホタテ」。

大学って高校までと違って、自分から働きかけないと何もしくても時間は過ぎていってしまうじゃないですか。ここに入らなかつたらここまで面白い人たちと出会うこともなかったし、達成感を味わうこともなかった。将来は何か起業をしたいと思っている僕にとって、人間関係の輪を広げ、テーマについて議論し、メリハリをつけて最後までやり切るといった体験はとても有意義だと思います。」



Xmas イベントでは地元有名店のケーキを配りました。

後は単発のイベントの企画運営にとどまることなく、いかにその経験を大学全体の共有財産とし、継続的に考え実践していく力としていくかがポイントとなるだろう。

かわした あきひろ
河下 晃大 君

学生会副会長。
現代マネジメント学部3年。
愛知県立安城南高等学校出身。
特技：マネジメントの幸福について語ること。



学生会・生徒会

特集 わたしたちの学園リーダー

大学祭や文化祭などで活躍している姿を見かける学生会・生徒会メンバー。行事当日の司会や進行をするだけでなく、在学生の学校生活を、より豊かに楽しいものにするために年間を通じて活動をしています。今回はその学生会・生徒会の知られざる姿をレポートします。

自分たちの力でキャンパスライフをマネジメント



新入生歓迎会ではゲームで盛り上がりました。

愛知学泉大学豊田学舎の学生会は現在18名。4月の新入生歓迎会に始まり、宝探し、ハロウィン、クリスマス、お正月イベントと、季節ごとに学生を楽しませるイベントを企画・運営している。また合同学生会委員会を毎月開催し、学生の意見を教授会に提議するという、学生と大学をつなぐ重要なパイプ役も果たしている。学泉祭（大学祭）の際には学泉祭実行委員会を裏からサポート、体育会系の部活動が盛んな大学だけに練習や試合の時のテント貸し出しや、留学生の歓迎イベントを企画するなど、その活動は多彩で幅広い。

現在学生会で会長・副会長を務めている3人に、学生会の意義や感想を聞いてみた。

伊豫田君「僕自身、オープンキャンパスと学泉祭を見て、この大学に進学することを決めました。先

生と学生の距離が近く、学生が自発的に動いている姿を見て、この大学って魅力的だなと思ったんです。学泉祭などのイベントって意外とその大学のカラーや学生気質が出るんです。だから在學生に楽しんでもらおうのはもちろん、これから学泉への進学を考えている高校生や外部の方に対する大学のアピールという意味でも、一つひとつの行事を学泉らしくきちんとこなしていくことは大切だと思います。また、活動を通じて先生方や地域の方々、色々な業種の社会人の方と話ができるのもいいですね。」

河下君「学生会に入ってから感じたのは、将来僕たちが社会に出て力を発揮していくために、今やっている活動がとても有意義だなということですね。色々な意見を持つ人と議論を交わし、考えをまとめていくこと。チームワークを活かして一つの企画を運営・実行すること。そして結果に対する反省を踏まえて次に生かしていくこと。講義で学んだマネジメントを実践の中で身につけていくという意味でも、とてもいい体験をすることができていると思います。昨年、学生会会則を改訂した時も、改めて大学生活の意味やコミュニケーションの大切さを実感しました。」

柴田君「僕は単純に、学生会をやっている先輩方が楽しそうだからという理由で学生会に入りました。

わたしたちの学園リーダー

愛知学泉大学 豊田学舎 学生会

役員数：18名
活動目標：各種行事の企画運営を通じて豊田学舎を元気にする！

いよだ あきひろ
伊豫田 晃大 君

学生会会長。
現代マネジメント学部3年。
岡崎城西高等学校出身。
特技：城西で培ったジャグリングで魅せること。



しばた しょうや
柴田 奨也 君

学生会副会長。
現代マネジメント学部2年。
愛知県立日進高等学校出身。
特技：人なつっこい笑顔でよくしゃべること。



こんな行事も頑張っています！

新入生歓迎会



4月に行われた新入生歓迎会も学生会が盛り上げます。緊張している新入生に楽しんでもらおうと、司会にも気合が入ります。初めは固かった空気も、部活動紹介やビンゴ大会などのイベントを通して和らぎ、たくさんの笑顔を見ることができました。

学泉祭「ミスコン」



学泉祭の目玉の一つ「ミスコン」の企画・進行も学生会の仕事です。毎年恒例のギャル(?)司会者を、今年は深津君と山内君が務めました。爆笑インタビューや、ドキドキの告白シミュレーションに会場は大盛り上がり！選ばれたミス&ミスターの方々には花束とトロフィーが授与されました。

先生からのコメント

岡崎学舎は地域のお祭や催しにも積極的に参加し、学泉祭にも地元の方々をお招きしています。今では、これらの活動を大学のウェブサイトで見かけた外部の企業や団体からお手伝いを申し込まれるようになりました。フットワークが軽く、柔軟性のある学生の力が求められているんですね。学生たちにも良い刺激になっているようです。

すがせ きみこ
菅瀬 君子 先生
岡崎学舎学生会顧問
愛知学泉短期大学
生活デザイン総合学科教授



「花のとう」ではたくさんの子供たちが来てくれました。

でも、参加してくれた人が自分たちの企画で楽しんでもらえると、こちらも嬉しいです。どんな意見もしっかり受け止めて次回のイベントにつなげていけたらと思います」と前向きに考えているようだ。今後の学生会について、「これから後輩に徐々に引き継いでいって、前に出ることや緊急時の判断も任

せていこうかと考えています。次の学生会には、新しいことにどんな挑戦していったらいいですね」と期待する。
今年度で短大を卒業する玉井さんは「学生会をしていなければ出会はずのなかった人との出会いは、大きかったです。これからは、自分や相手が困った時にそっと助け合えるような関係を社会や地域と築いていけたらと思います」と学生会での活動を振り返る。
最後に、どんな大学にしたいか聞いてみると「日本一明るく元気な大学」を目指しています！学校行事や地域ボランティアを学生会全員で盛り上げていきたいです!!」とまっすぐな答えが返ってきた。岡崎学舎学生会の今後の活動にも注目だ。



天候が心配された運動会は無事に開催できて大成功！

わたしたちの学園リーダー

愛知学泉大学・
愛知学泉短期大学
岡崎学舎 学生会

役員数：13名
活動内容：行事の企画運営、地域の祭やボランティア活動への参加。

岡崎学舎の敷地は決して広くはないが、その中に大学の家政学部と短期大学があり、学生会活動も一緒に行っている。「こじんまりとしている分、友達や先生と深く関わることができるんです。」そう話してくれたのは副会長を務める土屋さん。「敷地が狭い分、それを生かして行事は盛り上がりやすいです。また、横より縦の繋がりをもちやすいですね。特に学生会は先輩に誘われたり、先輩に憧れたりして入る学生が多いですね。」

人と人との繋がりを大切にしていく岡崎学舎学生会は、地域との交流には特に力を入れている。毎年5月には、地元矢作商店街で行われる「花のとう」にもブースを設けて活動。打ち合わせの段階から参加し、学内の先生にも声をかけてゼミからもブースを出すようになった。年々、ブースに遊びに来られる子どもたちも増え、商店

街も大学を応援してくれていると感じる。もう1人の副会長、玉井さんは「学生会が主催でイベントやボランティアを行うとすると、いつもたくさんの方が助けてくださるんです。そういうところから、先輩方がどういう思いで頑張ってきたのかがすごく伝わってきます。この流れを次の代にも繋げていかなければいけないと思います」と話す。

また、企画・運営担当の山内君は、「僕は学生会活動の中で東北でのボランティア活動が一番印象に残っています。被災地を自分の目で見たり被災者の方にお話を聞いたりするなど貴重な体験ができましたね。現地の方々も温かく迎えてくれて、これも先輩たちの活動のおかげだと感じました」と語る。愛知学泉大学では東日本大震災以来「東北被災地支援活動」を行っている。今まで築いてきた絆を絶やさぬよう、これからも東北支援を続けていくと学生会も意気込んでいる。

学内でも、大学を盛り上げようと学生会主催のイベントやパーティーの企画や運営に奮闘している。中でも9月に行われた「秋の大運動会」は、120人以上が集まり大盛況であった。自由参加にも関わらず、どうしてここまで人が集まるのか聞いてみると、「イベントの参加費を無料にしました」「景品もUSJのチケットなど目玉商品を作り、学生が喜んでくれそうな物



学泉祭ではドリンクの販売を行いました。

愛知学泉大学・短期大学を『日本一明るく元気な大学』にする!!

ふかつ たかや
深津 貴哉 君

学生会会長。
大学 家政学部
こどもの生活専攻3年。
安城学園高等学校出身。
イベントの司会センスは抜群、盛上げ団長。

つちや さおり
土屋 佐織 さん

学生会副会長。
大学 家政学部
こどもの生活専攻3年。
静岡県立浜松商業高等学校出身。
学泉夏祭りミス浴衣、男子学生にモテモテ。

やまうち ふみや
山内 奎弥 君

企画・運営担当。
大学 家政学部
こどもの生活専攻2年。
安城学園高等学校出身。
優しい性格でみんなをひきつける癒し系男子。

たまい みき
玉井 実季 さん

学生会副会長。
短期大学
生活デザイン総合学科2年。
愛知県立松平高等学校出身。
韓国語を得意とし、韓国語サークル長を兼務。

こんな行事も頑張っています！

平和の灯 自転車リレー



今年の学園祭前夜祭では、ろうそくでつくられた「祈年」の文字に灯がともされました。この灯は、今年の夏に行われた「自転車ピースリレー」で広島市から名古屋市に運ばれた平和の灯を、有志生徒の自転車リレーによってさらに学校まで運ばれたものです。

学園祭 シンポジウム



「原発・原爆 未来の二つの顔」をテーマに、学園祭でシンポジウムを行いました。広島原爆を体験した金本さんと、福島県原爆事故後に南相馬市から避難してきた尾子さんをお招きしてお話ししていただき、本校の生徒と大船渡東高校の生徒会長が意見を交わしました。

先生からのコメント

生徒会活動を行うことは「人間関係」や「組織の中での役割」を意識することでもあります。共通の目的に対して自分がどのように関わり、機能させていくか。これは自分自身を見つめ直す絶好の機会です。教師の目から見て生徒たちの感性にはすごいものがあります。これから型にはまらず自由な発想で伸び伸び活動をしてほしいと思います。

和田 圭吾 先生
安城学園高等学校生徒会顧問



平井 那衣梨 さん (2年生)

豊田市立梅坪台中学校出身。平成27年度前期生徒会副会長。子どもが好きで、子どものことを親と一緒に考えられるのは教員だと気づき、小中学校の国語教諭を目指す。大船渡の七夕まつりでは少年団と山車を引いた。



蔵本 紗智 さん (3年生)

豊田市立豊南中学校出身。平成27年度前期生徒会長。友人に誘われ実行委員会に参加、2年生の時には生徒会会計を務める。生徒会を自分の居場所だと感じ、「何か新しいことをしたい」と思い、会長となる。

今年の学園祭のテーマ「祈年」について教えてください
蔵本さん「戦後70年という節目の年に、高校生の私たちに何ができるのか、何を考えて行動しなければいけないのかを話し合い、学園祭に取り組みしました。「祈年」には、日本や世界の平和を祈る気持ちはもちろん、被災地復興の願いも込められています。」
平井さん「今回のボランティアを通して、「被災地の方々に本当の笑顔が戻るように」、「日本のみんなが東北の震災のことを忘れないように」、「困っている人がいることから目を背けないでほしい」という思いを「祈」に込めるようになりました。」



学園祭では平和を祈願するための神社をつくり、来場者の方に絵馬を書いてもらいました。

来年度の活動に向けて

蔵本さん「来年のボランティアに参加しようと思っている人たちに、「毎年恒例だから」ではなく、「こう考えるから私たちは行きたいんだ！」という思いを持ってほしい」

ですね。現地では、多くの方と直接話す機会がたくさんあります。積極的に話しかけ、行動すること、今よりも視野が広がると思います。」
平井さん「今年の学園祭では、平和についてのシンポジウムを行いました。これからの世の中を担っていく高校生、私たちがただからこそ、こうした機会に社会について学ばなければならぬと思います。社会の問題を自分たちの問題と捉え、何が必要なのか、自分たちにできることは何かを考えるきっかけを生徒会として広げていきたいです。」



わたしたちの学園リーダー

安城学園高等学校
生徒会

役員数：8名

高校生の私たちだから
社会に目を向けて、自分自身で考え
行動することが大切なんです。

安城学園高等学校の生徒会は、震災後から続けている「大船渡七夕ボランティア」を始め、学園祭や行事を通して、生徒たちが社会について考えるきっかけづくりを行っています。これらの活動について、前期生徒会長の蔵本さんと副会長の平井さん、そして生徒会顧問を務める和田圭吾先生にお話を聞きました。

今後はどのような支援が必要だと思えますか？
蔵本さん「他の震災や災害にも言えることですが、被災者の方たちは「忘れないでほしい」と願っているんじゃないかと考えるようになりました。今後の支援の形として、金銭的な援助も必要ですが、現地に足を運んで直接関わっていく支援が必要なんだと思います。それが被災者の願いにも繋がっていくと感じました。」
平井さん「私は交流していた方に「お金よりも、人が欲しい」と言われました。実際に震災の跡地を見て作業が進んでおらず、作業員の方もあまり見かけなかったのでも、人手が足りていないようにも感じます。私たちがしてあげられることは少ないですが、話し相手になったり、人と人との交流をつないでいったりすることで、少しでも明るい気持ちになってくれたら嬉しいですね。」

今年度の夏のボランティアで感じたことは？
蔵本さん「今回で東日本大震災から4年経ち、「もう4年経ったから大丈夫」と思う人もいるかもしれませんが、実際に見てきた限りでは「もう4年経ったのにまだあんなに復興が進んでいない」と感じました。1回目の時に、「復興は進んでる！」と思ったことも2回目に行くのと全然変わっていかなくて愕然としましたね。」
平井さん「蔵本さんも言っているように、想像していたより復興は進んでいませんでした。しかし、それ以上に驚いたのは現地の人が前向きで明るかったことです。私だったら、暗くなつて塞ぎこんでしまいかもしれないけど、現地に足を踏み入れるまでは思っていました。でも実際に交流してみると、町の人も高校生もみんなパワフルで、逆に元気をもらっちゃいました。」



大船渡の七夕まつりでは、地元の方々と一緒に山車を引きました。

こんな行事も頑張っています！

花のとう



毎年恒例となっている地元の矢作商店街のお祭り・花のとう。岡崎城西高校は今年も大勢の生徒が舞台や屋台で祭りを盛り上げました。地域の人たちと一体となって行事を企画・運営する体験は、生徒にとっても貴重な学びの場となっています。

若鮎祭



毎年4月、新入生歓迎会として全校を挙げて行われる若鮎祭。学校の雰囲気や各種部活動、先生の素顔などを知ることができ、スクールライフにスムーズに溶け込むことができると好評の行事です。

先生からのコメント

岡崎城西高校の文化祭は、小さなお子さんからお年寄りまで、二日間で延べ約五千人が集まる地域挙げての行事になっています。そんな中、今回、生徒達が今一度平和について考える機会を設けたのは本当に意義深いことだと思います。一人ひとりが社会に目を向け、自分の考えをしっかりと持って発言していく。そんなきっかけになってくれたらと考えています。

もりた よしかず
森田 佳和 先生
岡崎城西高等学校生徒会顧問



戦後70年の節目の年。
文化祭を通して、平和や戦争を改めて考えるべきだと思いました。



横穴式防空壕入口に並ぶ来場者。中は暗く狭く、空襲警報と爆撃音が鳴り響く中、爆撃の衝撃による振動を疑似体験できました。

文化祭では平和を考える企画が多かったですね？
奥村さん「世間では安全保障関連法案やテロリズム、領土問題など、連日のように平和に関する話題が議論されています。戦後70年の節目であるこの時期に、私たち若者がもう一度原点に立ち返って平和の意味を考えるべきだと思っただけです。」
市川君「太平洋戦争末期、ここ岡崎でも空襲がありました。ただ70年前のことですからその時の体験者の方は高齢になっており、今のうちに僕たちが生の声を聞いておかないと手遅れになるぞという危機感がありました。今回幸いにも『岡崎空襲を記録する会』の方に話を伺う機会がありましたので、そ



中庭にはたくさんの露店が軒を連ね、多くの来場者で賑わいを見せます。

の貴重な体験談をもとに「防空壕体験」を文化祭で開催しました。」
文化祭を通じて感じたことは？
奥村さん「戦争を知らない世代が大半を占めるようになってきた今、その悲惨さや虚しさは次の世代に伝えていくことはとても大切だと思います。私たちができることは限られていくけど、これをきっかけに平和の尊さをみんなで考えていければと考えています。」
市川君「戦争体験者の方の話は予想以上にたくさん悲しいものでした。これからは国内・国外を問わず、世の中で起こっていることにもっと関心を持ち、自分たちに何ができるのかを考えていきたいと思っています。」



わたしたちの学園リーダー

岡崎城西高等学校
生徒会

役員数：7名

平成27年は太平洋戦争終戦70年の年でもあったことから、岡崎城西高等学校文化祭は「平和考学」をテーマに、様々な企画で平和の意味を考えました。
今回は前期生徒会長の奥村さんと後期生徒会長の市川君、そして生徒会顧問の森田佳和先生に生徒会活動のやりがいや文化祭についてお話を伺いました。

生徒会に入ったきっかけは？

奥村さん「昔から人のために動いたり、みんなをまとめたりするのが好きだったので、直接の動機は6歳上の姉の話です。姉は城西高校の卒業生で当時実行委員をしていました。私が中学生の時にその時の話を聞き、入学前から生徒会活動に憧れていました。今考えると自分でもおかしいのですが、高校生活を語る姉の姿はそれくらい輝いて見えました。」
市川君「僕はワンダーフォーゲル部に所属しているのですが、たまたま部活動が忙しくない時期に実行委員会に参加したのが始まりです。その時も結構忙しく、初めは右も左もわからなかったのですが、先輩方のお蔭もあり、みんなと一緒にの事を成し遂げた時にすごくやりがいを感じ、今に続いています。」

実際にやってみてどうですか？

奥村さん「姉からは楽しい話ばかり聞いていたのですが、実際には行事前はとても忙しく、アイデアが出なくて苦労することも多かったです(笑)。実行委員のメンバーにもそれぞれ考えがあり、大勢をまとめていくのが大変と言えれば大変でしたね。でも東北ボランティアに参加して色々貴重な体験をさせて頂いたり、先生たちともじっくり話をする機会があったりして、得るものは多かったです。」
市川君「僕は何か企画したり、物を作ったりするのが好きなので、活動はすごく面白いですね。もちろん実行委員の中でも色々な人がいますから色々な事が進まない時もあります。一つの企画が終わった時の達成感は何物にも替えがたいものがあります。」



空にはB29、地上には零戦と戦車。右奥には防空壕が見えます。木材や鉄パイプ、タイヤやベニヤ板などで生徒が全て手作りしました。

おくむら まずみ
奥村 真澄 さん (3年生)
岡崎市立岡崎北中学校出身。平成26年度後期及び平成27年度前期生徒会長。城西卒業生である姉の影響で「生徒会活動をするため」城西に入学。卒業後は福祉関係の調理師を目指す。



いちかわ しゅん
市川 竣 君 (2年生)
岡崎市立岡崎北中学校出身。平成27年度後期生徒会長。1年生の終わりに実行委員を務め、生徒会活動に目覚める。前生徒会長の奥村さんは中学の先輩でもある。





根間教授に聞きました

食物栄養学科の社会人基礎力育成とは？

この度「社会人基礎力育成グランプリ 2016～中部地区予選大会～」で、見事グランプリを獲得した愛知学泉短期大学 食物栄養学科。学科主任を務める根間教授に、食物栄養学科における社会人基礎力育成についてお話を伺いました。



藤川宿で行われた「江戸・華々しい食の楽園」にて、江戸時代の食事展示や二十四節気の説明を行いました。



ねま けんきち
根間 健吉 教授
愛知学泉短期大学
食物栄養学科主任

私は、まちの発展があり学校の発展があると考えています。ゆえに、「まちづくり」は教材です。学生も座学ばかりでは飽きてしまいますから、上手く機会をつくり、外に連れ出してアクティブに学ばせるようにしています。大学で学んだ理論をいかに実践するかが大きな目標なんです。

昨年11月には岡崎市藤川町の道の駅「藤川宿」で、徳川家康公顕彰四百年を記念した企画展「江戸・華々しい食の楽園」を開かせて頂きました。本学科2年の学生にもガイドをお願いし、展示の説明やいり豆とせんべいの試食コーナーを担当してもらったのですが、物怖じせず、自らお客さんに声をかけたり、試食品をすすめたりする姿に今までの取り組みの成果を感じました。多様な人と共同して仕事をすると、社会性が身につきます。地域の人に褒めてもらえると学生

● 普段はどのような取り組みを行っていますか？



1 産学連携 PBL 活動では外部の方に協力していただき、実践の中で社会人基礎力を育成します。



2 学内で行われた「第5回社会人基礎力育成グランプリ—無限の可能性への挑戦 2015—」にて。

平成 27 年度における社会人基礎力育成関連の教育

● 社会人基礎力を育成する授業

- ・ 家政学部 管理栄養士専攻「管理栄養士への道」[生化学実験Ⅰ]
- ・ 家政学部 家政学専攻「キャリア形成Ⅰ・Ⅱ」
- ・ 家政学部 こどもの生活専攻「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」
- ・ 現代マネジメント学部「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」
- ・ 短期大学（全学科）「無限の可能性開発講座Ⅰ・Ⅱ」

● PBL を用いて社会人基礎力を育成する授業

- ・ 家政学部 管理栄養士専攻「栄養実習事前・事後演習」「臨地実習」「応用栄養学実習」「栄養教育論実習」
- ・ 家政学部 家政学専攻「キャリア形成Ⅲ」「生活スタジオ入門」「CG基礎」「生活学演習A」
- ・ 家政学部 こどもの生活専攻「基礎演習Ⅲ・Ⅳ」「幼児理解」「教育実習指導」
- ・ 現代マネジメント学部「問題解決基礎Ⅰ～Ⅳ」
- ・ 現代マネジメント学部「現代マネジメント実習Ⅰ～Ⅳ」

● 外部と連携した PBL による社会人基礎力の育成

- ・ 大学（全学部）「豊田市旭地区へのボランティア活動」
- ・ 家政学部 管理栄養士専攻「安城のキュウリから広がる無限の可能性—レシビ開発プロジェクト」
- ・ 家政学部 家政学専攻「岡崎の新名物「stick GOHEI」の開発と露店販売」
- ・ 家政学部 こどもの生活専攻「地域の特色を生かしたボランティア活動づくり」
- ・ 現代マネジメント学部「蚕について知ってもらおう！—福武お茶づくしの交流会における紙芝居の実演と学祭出展を通じて」
- ・ 現代マネジメント学部「鞍ヶ池公園整備事業への参画：行政・NPO・学生のパートナーシップによる地域貢献活動の実践」
- ・ 現代マネジメント学部「[広報とよた]における大学生レポーター活動」
- ・ 短期大学 生活デザイン総合学科「岡崎発・まゆプロジェクト」
- ・ 短期大学 食物栄養学科「岡崎市の駅「藤川宿」との地域連携事業」
- ・ 短期大学 食物栄養学科「豊田森林組合との産学連携事業」
- ・ 短期大学 食物栄養学科「愛知県漁業士協議会との都市・漁村交流事業」
- ・ 短期大学 食物栄養学科「まごころグループとの産学連携事業」
- ・ 短期大学 食物栄養学科「ホテルトヨタキャッスルとの産学連携事業」

● 学外の社会人による学生面談

- ・ 家政学部（全専攻）3年生「外部評価面談」
- ・ 現代マネジメント学部 3年生「外部評価面談」
- ・ 短期大学 食物栄養学科 1年生「気づきの会」

● 学生による活動の発表会

- ・ 社会人基礎力協議会主催の社会人基礎力育成グランプリに参加
- ・ 学内にて独自の社会人基礎力育成グランプリを開催

● 印刷物による普及・啓発

- ・ 大学（全学部）「学泉ノート」の配布
- ・ 全科目においてシラバスに社会人基礎力に関する目標・留意点を記載

愛知学泉大学・愛知学泉短期大学の社会人基礎力育成

愛知学泉大学・愛知学泉短期大学では、社会の中で活躍し、積極的に社会に変化を生み出せる能力を身に付けるために、知識・技術に加えて「社会人基礎力」を育成する教育モデルを平成 18 年度から開始し、平成 20～22 年度には経済産業省の「社会人基礎力育成・評価システム構築事業」に採択されました。

当初は有志学生による授業外の産学連携 PBL 活動が主体でしたが、10 年目の現在では、全学生を対象とした社会人基礎力を育成する授業や、授業における PBL 活動による社会人基礎力の育成、外部社会人の面談による育成評価、本学独自の社会人基礎力育成グランプリの開催など、その教育内容は多種多様になってきました。

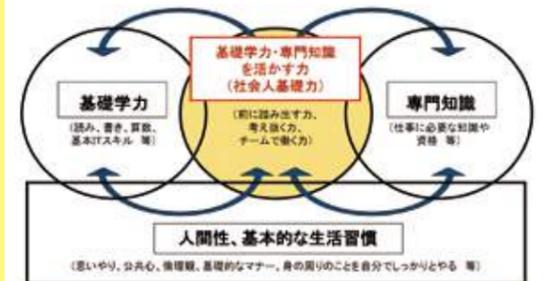
※ PBL = Project/Problem Based Learning の略。プロジェクト型学習、課題解決型学習などのこと。

「社会人基礎力」とは

「社会人基礎力」は、「職場や社会の中で多様な人々と共に仕事をしていくために必要な基礎的な力」として経済産業省が平成 18 年から提唱しているもので、3つの能力（12の能力要素）で構成されています。企業や若者を取り巻く環境の変化により、「基礎学力」「専門知識・技術」に加え、それらをうまく活用していくための「社会人基礎力」を意識的に育成していくことが、今まで以上に重要となってきています。

3つの能力 / 12の能力要素

- 前に踏み出す力…主体性・働きかけ力・実行力
- 考え抜く力…課題発見力・計画力・創造力
- チームで働く力…発信力・傾聴力・柔軟性・情注把握力・規律性・ストレスコントロール力



食育教室の様子。子どもたちにも分かりやすいように紙芝居を使い、栄養バランスの大切さを教えます。



●●● 社会人基礎力育成グランプリ 2016 中部地区予選大会 ●●● 愛知学泉短期大学 食物栄養学科 優秀賞受賞！ 中部地区代表として決勝大会に出場決定！

昨年12月6日(日)、尾張旭市の名古屋産業大学で行われた「社会人基礎力育成グランプリ 2016 中部地区予選大会」において、短大食物栄養学科が出場8チームの中を見事勝ち抜き、優秀賞(1位)を受賞しました。彼女たちは今、2月22日(月)に東京で開催される全国決勝大会の本番に向け、さらなる研鑽を続けています。



本グランプリは、学生が大学の授業やゼミ活動等を通じて「社会人基礎力」をどれだけ伸ばすことができたかを発表するもの。
食物栄養学科2年生41名は、藤川まちづくり協議会からの依頼を受け、平成27年4月から地元のみらさき麦を使った料理開発を始めとした、地域の特産品を生かした実験・実習を行ってきました。これらの活動を通じて彼女たちは地産地消の取組みを考え、前に踏み出す力、チームで働く力などの社会人基礎力を育み、今回それが社会人基礎力育成グランプリでも大きく評価されました。



見事、優秀賞を受賞したメンバー。左から牧野加奈恵さん、安藤恵さん、市野詩織さん、山本淳子先生、石田雅奈さん、山野紗緒里さん。

● 根間先生の考える「教育」とは？

「安城学園教職員憲章」の7項目を実践することです。憲章に記されているように、「三河のまち

● 今後の課題を教えてください

今、切望しているのは「社会人基礎力育成」の取組みを授業として認めてもらうことです。授業と

もより一層やる気を起こすんです。地域へ貢献することで、学生自身が成長したと感ずることが一番大切ですね。
また同日、藤川宿に隣接する岡崎市東部地域交流センター・むらさき館で行われた子ども向け料理教室には、本学科の1年生全員が講師として参加しました。入学した頃は、どこか不安げな顔をしていましたが、今では人前でも堂々としたものです。料理教室の後の食育教室でも、学生たちが自ら考え教材を手作りし、子どもやお母さんたちの前で発表することで、人に伝える難しさやコミュニケーションの楽しさを肌で感じたと思います。

また授業では、学生が楽しみながらスキルアップできるように心がけています。学科全体で一学年40名と小規模ですが、その分小回りが利きますし、学生との距離も近く感じられます。学生たちの成長を言葉や数字で表すのは難しいのですが、できる人1人が10歩進むよりも、40名全員が1歩進む方が良く考えています。もちろんできる人はさらに伸びていけばいい。「皆で一歩ずつ前へ行く」という気持ちで教育に臨んでいます。

づくり」のために役立つ人材の育成が自分に課せられた使命です。行くべき方向性を示すと、学生もついてきてくれます。
私自身も昔から、「地域のために」を大切にしてきました。学生を地域に出し、自分も一緒に飛び込むんです。すると、教員としてのスキルアップにも繋がります。教員にも「無限の可能性」があります。ですから、潜在能力を發揮する良いきっかけになりますよ。時には上からの目線で指導することも大切ですが、学生と一緒に取り組んで行く姿勢は忘れずにいます。「安城学園教職員憲章」は、教育者の羅針盤になっています。



「無限の可能性開発講座」ではグループワークを通して社会人基礎力を育みます。

しての価値を認めてもらえれば、学生たちももっと積極的に参加できます。資格取得のための授業は大事ですが、社会人基礎力の育成という生きた教育も必要なんです。私たちの行っていることは、授業化への道作りの途中です。環境を整備して、毎年続けていくことで基盤を作っています。
そして個人的な夢ですが、私は大学でレストランを開きたいんです。高齢者向けの介護食やアレルギー対応のスィーツを学生がつくり、学外の方にもお越しいただきたい。大学が地域のレストランとなれば、教育としての意義はもちろん、福祉やまちの活性化にも大きく貢献できます。現在行っている地域連携や産学連携もまだまだその一歩です。これからも地元根付いた教育を行い、学生共々成長していけたらと思います。

●●● ホテルトヨタキャッスルとの産学連携事業 ●●●

昨年10月8日(木)、ホテルトヨタキャッスルから、「カルボナーラパスタ」に学生独自のアレンジを加えた新メニューを開発してほしいという依頼が来ました。様々な実習を経験した2年生にとっても、なかなか大変だったようです。しかし、最後にはどの班も素敵なパスタが完成。ホテルトヨタキャッスルの方からも「どの班もアイデアが素晴らしい。私も勉強になりました。これらの作品のメニュー化を考えていきたい」と嬉しい評価をいただきました。
今回の実習を3名の学生に振り返ってもらいました。「アイデア出しに時間がかかり、完成がギリギリになってしまいました」

と藤田さん。「班で上手く動き出せず、お昼休みや空き時間も使って話し合いました」と家下さん。「1回目の試作がイマイチで、何度もレシピを練り直しました」と堀田さん。それぞれ反省点はあるようですが、「どこの班が一番良かったか」という質問には全員笑顔で「自分の班が一番!」と答えられました。少々難しい課題でしたが、班で力を合わせて乗り越え、さらに大きく成長できたようです。



学生たちが考案したパスタは、期間限定メニューとして商品化が決定!



写真左より
愛知学泉短期大学 食物栄養学科
2年 藤田 真由 さん1班
2年 家下 真代 さん6班
2年 堀田 真央 さん5班

食物栄養学科のまちづくり・地域貢献への取組み

1 豊田森林組合との産学連携事業

同組合下山区の特産物である「乾しいたけ」の普及促進、消費拡大に向け、①しいたけを使ったメニューの開発、②パッケージデザインの改良などに取り組んでいる。社会人基礎力の育成にも繋がる「学びの場」であり、授業の一環として通年で実施している。



しいたけキッシュの試作を、豊田森林組合の方に食べていただきました。

2 愛知県漁業士協会との都市・漁村交流事業

愛知の水産物ライトアップ事業として、①県産の水産物の紹介および料理講習、②試食会および意見交換会、③学生による研究発表等を実施している。愛知県農林水産部食育推進室、同水産試験場協力のもと、2年生を対象に授業の一環として8月に本学において実施している。



この実習を通して、魚介類の調理もお手の物です。

3 まごころグループとの産学連携事業

株式会社まごころ(まごころグループ)の系列企業(とんかつ 志番屋)と協働して、ヘルシーメニューの開発に取り組んでいる。社会人基礎力を育成するための自主グループによる課外活動(自由活動)である。1年生が中心となって活動している。

みんなで意見を出し合い、チームワークも高まりました。

幼稚園お母さんインタビュー
安城学園の幼稚園に入ってよかったこと

安城学園の三幼稚園の建学の精神は「真心・努力・奉仕・感謝」。子どもたちのやさしい気持ち、素直な心を伸ばすことを大切にしています。
また、教職員一人ひとりが子どもたちそれぞれの個性や成長の度合いを見極め、きめ細やかな保育ができるように努めています。

Mother's Interview

愛知学泉
短期大学
附属幼稚園

Profile

石川家

母：マミさん

子：雄雅くん



家庭的な雰囲気のある、優しく心温まる環境で伸び伸び育っています

元々ひょうきんでやんちゃな雄雅ですが、最近集団生活が身についたのか、毎日の生活が楽しくて仕方がないようです。運動や工作が好きで、最近はクルマのタイヤ(?)に興味を持つなど好奇心が

杯の息子は、この3年間、本当に伸び伸びと育てていただきました。はじめは苦手だったトマトをいつのまにか進んで食べるようになったり、難しい制作物を一人で作れるようになったり、側転ができるようになったり……。子どもにとって少しハードルの高いことでも、一生懸命頑張ればどんなことでもできるようになるんだという自信は、これからの彼の人生にとっても大きな宝物になると思います。「感謝の心を持ち」「意志の強い」「優しい」人に育ってほしい。そう願って子育てをしている私たちにとって、一人ひとりの個性を尊重して応援していただけたらこちらの幼稚園はまさにぴったりの環境だったと思います。

運動会にて、元気いっばいの選手宣誓を披露しました。



安城七夕まつりで鼓笛パレードを行い、たくさんのお客さんの前で演奏しました。

Mother's Interview

愛知学泉
大学附属
幼稚園



サマーキャンプにて、自分たちで作ったカレーは特別な味がしました。



運動会にて、組体操の演技もがんばりました。

多種多様な体験を通して、子どもがどんどん成長していくのが実感できます

子どものうちは、とにかく体をよく動かして色々な体験をさせてあげたいと思います、大学附属幼稚園を選びました。こちらの先生方は本当に子どものやる気を引き出すのが上手ですね。野外活動・運動・

音楽・語学・社会見学など、子どもの興味関心は毎日尽きることがありません。今では信じられませんが、うちの真帆は入園時は人見知りや激しく、登園時のバスの中でも毎日泣いているような子だったんですよ。ところが今では先生に「こんな元気な子とは思わなかった」と言われるくらい元気いっぱい。サマーキャンプのグループ分けの際には、あえてそれまであまり話をしていなかった子を誘って友達のを輪を広げようとするなど、すごく積極的に活発な子に成長してくれました。子どもの心と身体の健康に常に気を配りつつ、可能性を大きく広げてくださる先生方には本当に感謝しています。

Profile

深沢家

母：香代さん

子：真帆ちゃん



Mother's Interview

愛知学泉
大学附属
桜井幼稚園

Profile

杉本家

母：めぐみさん

子：優芽ちゃん



一人ひとりを大切に見守ってください親の私たちも育てていただきました

園児はもちろん、私達父母も含めたみんなのお母さんの存在の園長先生。そしてしっかりと子どものことを見ていくくださる優しい先生方。2年前に卒園した上の子や主人も含めて、うちは家族全員こ

ちらの幼稚園が大好きです。親ではなかなか体験させてあげることができないしじみ採りやにんじん堀りなどの自然体験や、上下の区別のないおらかな人間関係の中、娘は他人の気持ちを思いやることのできる優しい子に育ってきました。最近はおしゃれにも気をつかうようになり、服を親が勝手に買ってくることもできないくらい。自分のことは自分の意志で決めていくという意味で、これも成長の証だとはほえましく見えています。家族全員を育ててくださった幼稚園に恩返しする意味でも、バザーや各種行事など、卒園後も家族全員で色々とお手伝いしていきたいですね。

だいこん掘りでは、大きなだいこんをたくさん収穫しました。



森の音楽祭(生活発表会)、劇「かくや姫」にて。皆と力を合わせて、劇は大成功でした。

部活動・サークル

本学園ではクラブ・部活動も活発に活動しており、学生・生徒の潜在能力開発の一因を担っています。ここでは12月までの主な大会の成績を紹介します。

岡崎城西高等学校 OKAZAKI JOHSEI HIGH SCHOOL

○陸上競技部



- ▶東海高校総体【男子】(棒高跳)3位
【女子】(総合)3位、(400m)優勝、
(走高跳)優勝、準優勝、3位
- ▶全国高校総体【女子】(総合)5位、
(400m)5位、(走高跳)準優勝、3位、4位
- ▶東海高校新人戦
【男子】(走高跳)3位、(走幅跳)準優勝
【女子】(800m)準優勝、(1500m)3位、
(走高跳)優勝、(走幅跳)準優勝、
(三段跳)準優勝
- ▶日本ジュニア選手権
【女子】(400m)3位、(走高跳)5位
- ▶日本ユース選手権
【女子】(800m)5位、(走高跳)優勝

○サッカー部

- ▶愛知県高校選手権 準優勝
- ▶愛知県U-18リーグ(1部)2位

○ハンドボール部【男子】

- ▶東海高校総体 ベスト8
- ▶愛知県高校選手権 優勝

○卓球部【男子】

- ▶東海高校総体(学校対抗)出場
- ▶愛知県高校リーグ戦(1部)3位

○剣道部

- ▶東海高校総体【男子】(団体)ベスト8
【女子】(団体)準優勝、(個人)ベスト4 2名
- ▶全国高校選抜【女子】準優勝

○ソフトテニス部

- ▶東海高校総体【女子】(団体)ベスト4
【男子】(団体)ベスト4、(個人)ベスト4
- ▶愛知県高校選抜【男子】優勝、【女子】優勝

○パワーリフティング部

- ▶全日本高校選手権
(93kg級)4位、(93kg超級)6位

○バドミントン部

- ▶愛知県高校総体(団体)
【男子】準優勝、【女子】準優勝

安城学園高等学校 ANJOGAKUEN HIGH SCHOOL

○吹奏楽部



- ▶東海吹奏楽コンクール 銀賞
- ▶中部日本吹奏楽コンクール 金賞
- ▶東海マーチングコンテスト 金賞
- ▶全日本マーチングコンテスト 銀賞

○女子バスケットボール部

- ▶愛知県高校総体 準優勝
- ▶東海高校総体 準優勝
- ▶全国高校総体 出場
- ▶愛知県高校選抜優勝大会 優勝
- ▶全国高校選抜優勝大会 ベスト8

○陸上競技部

- ▶東海高校総体
【男子】(砲丸投)3位、(八種競技)準優勝
【女子】(100m)3位、(800m)3位、
(100mH)優勝、(総合)4位
- ▶全国高校総体【女子】(100m)6位
- ▶東海高校新人戦【男子】(砲丸投)優勝、
(走高跳)準優勝、(ハンマー投)3位
【女子】(800m)3位、(1500m)準優勝、
(4×100mR)準優勝、(100mH)優勝、3位、
(走高跳)3位、(ハンマー投)優勝
- ▶日本ジュニア選手権【女子】(100m)5位
- ▶日本ユース選手権
【男子】(砲丸投)準優勝、(走高跳)6位
【女子】(100mH)5位、(ハンマー投)4位

○女子サッカー部

- ▶愛知県高校総体 準優勝
- ▶愛知県高校女子選手権 3位

○女子ソフトボール部

- ▶愛知県高校新人戦 3位

○男子バスケットボール部

- ▶愛知県高校総体 4位
- ▶愛知県高校選抜優勝大会 3位

○卓球部

- ▶東海高校総体【女子】(学校対抗)出場

○アーチェリー部

- ▶東海高校総体【女子】(個人)出場

愛知学泉大学・短期大学 AICHI GAKUSEN UNIVERSITY AICHI GAKUSEN COLLEGE

○硬式野球部



- ▶愛知大学リーグ戦(3部A)
春季 第1位/秋季 第1位(2部に昇格)

○女子バスケットボール部

- ▶東海学生大会 優勝
- ▶西日本学生選手権 3位
- ▶東海学生エイトリーグ 優勝
- ▶全日本大学選手権 4位
- ▶全日本総合選手権 出場

○男子バスケットボール部

- ▶東海学生大会 4位
- ▶西日本学生選手権 ベスト16
- ▶東海学生エイトリーグ 5位

○サッカー部

- ▶東海学生選手権 ベスト8
- ▶東海学生リーグ戦(2部)3位

○ハンドボール部

- ▶東海学生リーグ戦
春季(2部)1位/秋季(1部)10位

○ソフトテニス部【男子】

- ▶東海学生大学対抗リーグ戦(1部)
春季 5位/秋季 5位

○剣道部

- ▶東海学生選手権 準優勝、敢闘賞
- ▶全日本学生選手権 ベスト16
- ▶東海女子学生新人選手権 優勝、3位
- ▶東海学生新人優勝大会(7人制)準優勝
- ▶東海女子学生優勝大会(団体)5位
- ▶全日本女子学生優勝大会(団体)出場

○空手道部

- ▶春季東海大学選手権
(組手)【男子個人】優勝、【女子団体】3位
- ▶全日本学生選手権(組手)【男子個人】出場
- ▶秋季東海大学選手権
(組手)【男子団体】優勝、【女子団体】4位、
(形)【男子団体】3位、【男子個人】準優勝
- ▶全日本大学選手権
(組手)【男子団体】出場、【女子団体】出場

